足部洗浄は、単なる清潔保持ではなく、爪や皮膚を観察・評価し、爪ケアや角質ケア、保湿、外用ケアへつなげる重要な前処理である。しかし臨床では、時間や人員、準備・後片付けの負担から十分に実践されておらず、その意義も十分に共有されているとは言い難い。また、災害時には入浴や洗身が困難となり、足部の清潔保持や状態観察が十分に行えない状況も生じる。

本ハンズオンでは、前処理としての足部洗浄の考え方とシャボンラッピング法を体験的に学ぶ。きめ細かな泡で足部を包み込み、摩擦を大幅に軽減することで皮膚への負担を抑えながら洗浄できる。また、泡が汚れを包み込むことで擦る力に頼らない洗浄が可能となり、短時間で広い範囲を効率よく洗浄できる。治療薬や保湿剤の残留物を除去し、その後の外用ケアを行いやすい皮膚環境を整えることも前処理の役割である。

デモンストレーションと参加者同士の実技では、安全な洗浄手技に加え、足趾間や足底を含めた観察の視点、対象者に安心感を与える触れ方や声かけなど、洗浄を次のケアへつなげる実践を学ぶ。さらに、災害時における足部の清潔保持や観察など、限られた環境の中でも足を守るための足部ケアについて考える。

本セミナーの目的は技術習得だけではない。参加者が自施設で実践を継続するとともに、その意義や技術を後進や同僚へ伝えることで、施設内や地域へフットケアが広がることを目指している。前処理としての足部洗浄が定着し、平時から災害時まで、フットケアの質の向上と足病変予防につながることを期待している。